

123仕様

露出・接着・断熱工法



下地に断熱材を張り、その面にシートを張る工法。

吸水率の最も低い断熱材による断熱防水仕様です。

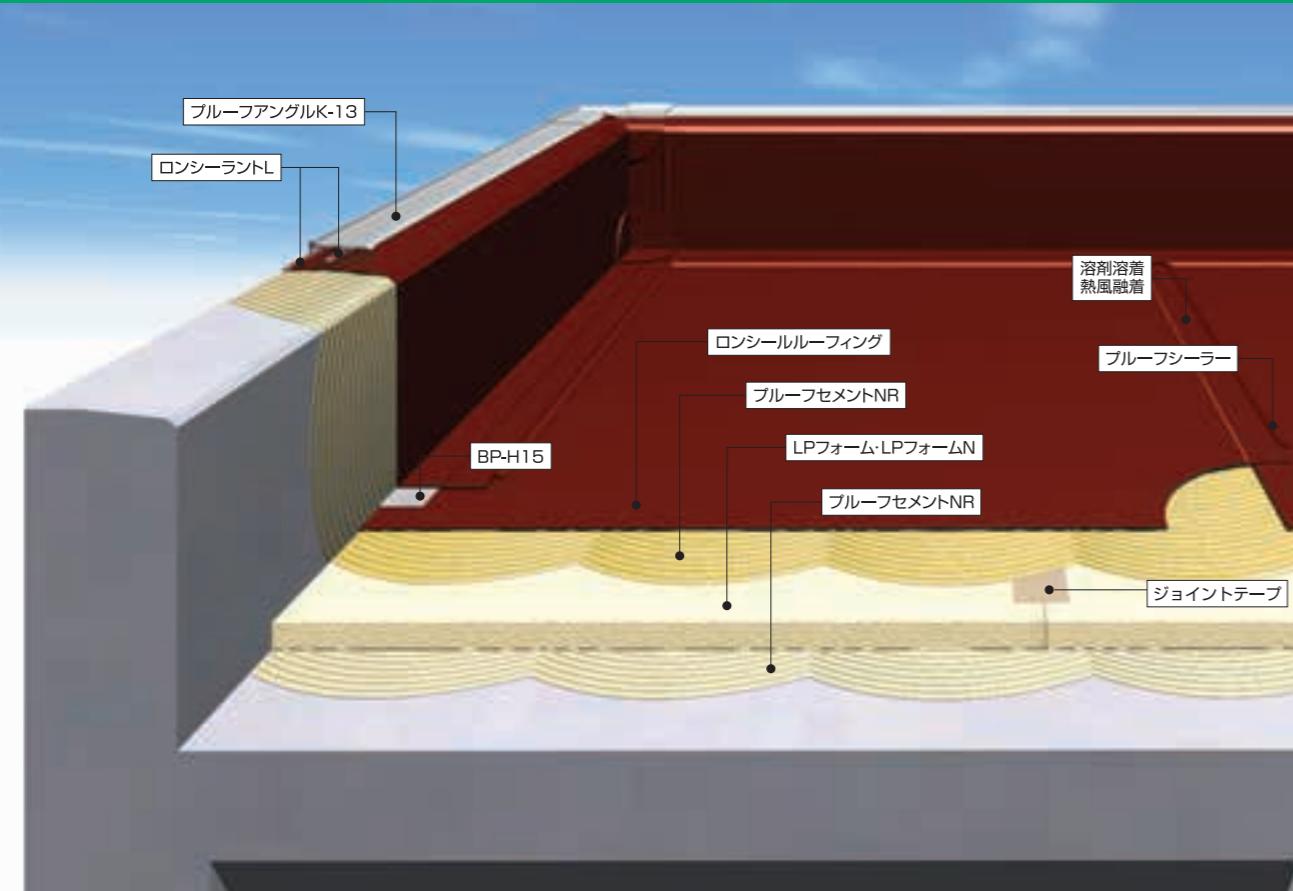
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 SI-F2 國土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 SI-F2

日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) S-PFT

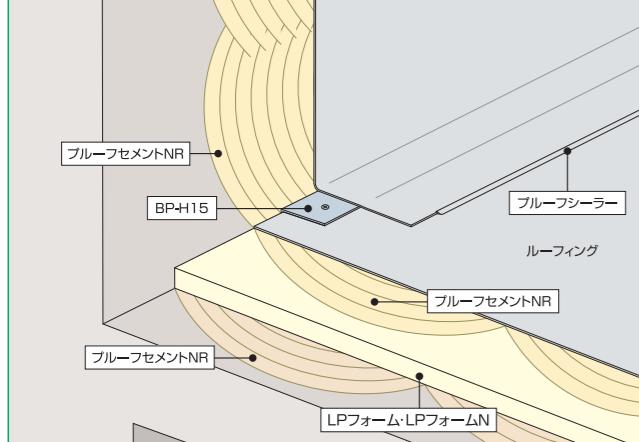
適合仕様 : LSN-123 / LA-123 ※左記仕様以外は、特記対応

適合仕様 : BSN-123 / NBP-123 / BRS-123 / BP-123 ※左記仕様以外は、特記対応

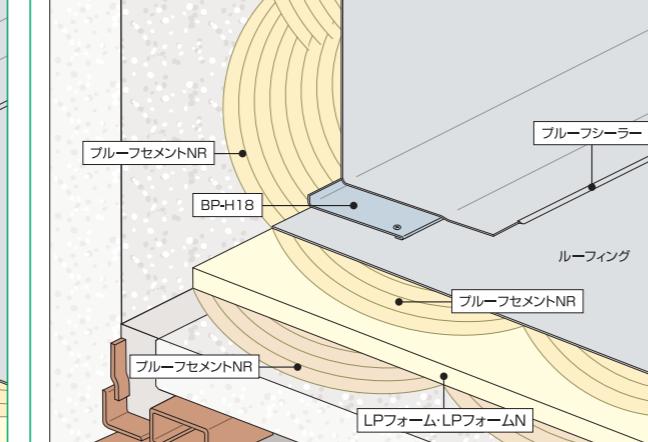
イメージ図 123仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



立上り部イメージ図 (RC下地)



立上り部イメージ図 (ALC下地)



仕様表

仕様記号	123		
LSN-123 BSN-123 BRS-123 LA-123 NBP-123 BP-123			
適応下地			
用 途			
施工手順	1. 下地処理	ALC下地の場合 : ロンバインダー(原液換算で50g/m ²) 金属下地の場合 : ウレタンプラサフ(0.24kg/m ²)	
	2. 接着剤塗布	平場 : ブルーフセメントNR(0.4~0.6kg/m ² 両面)	
	3. 断熱材	LPフォーム・LPフォームN(架橋ポリエチレンフォーム) ※受注生産品 ジョイントテープ(目地処理)	
	4. 接着剤塗布	平場・立上り : ブルーフセメントNR(0.4~0.6kg/m ² 両面)	
	5. ルーフィング	ロンブルーフシャネツ(LSN) ベストブルーフシャネツ(BSN) ロンブルーフエース(LA) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフ(BRS)	
	6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	7. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	
耐火・防火 (P.183~188参照)		屋根一般仕様 のみ	RC・PC・ALC下地 : 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。

適応部位	改 修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 ◎ 最適 △ 対応可	 ◎ 最適 △ 対応可 △ 対応可	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

125・127 仕様

露出・接着+機械的固定・断熱工法

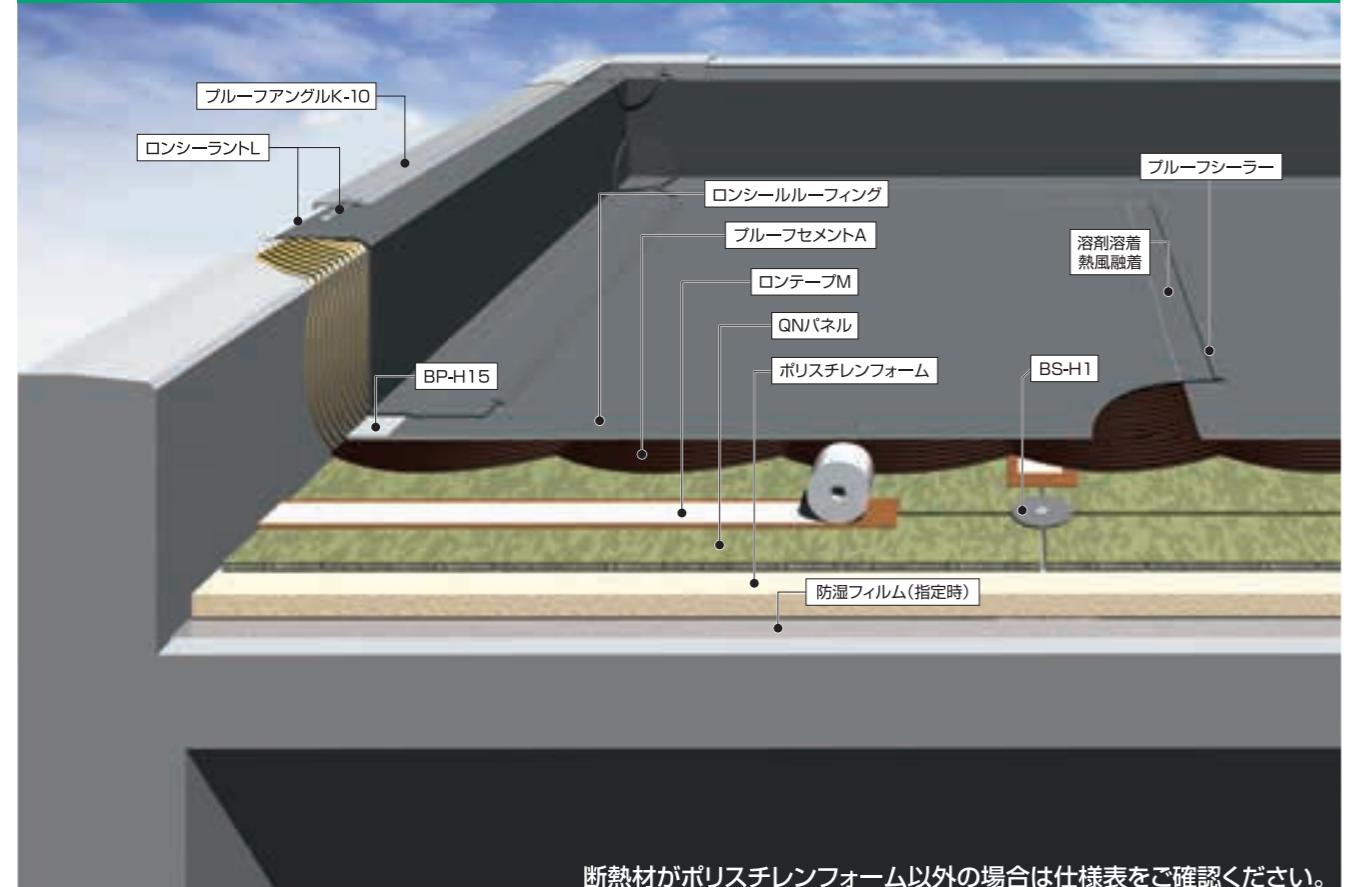


断熱材と無機質強化板を固定金具で固定。

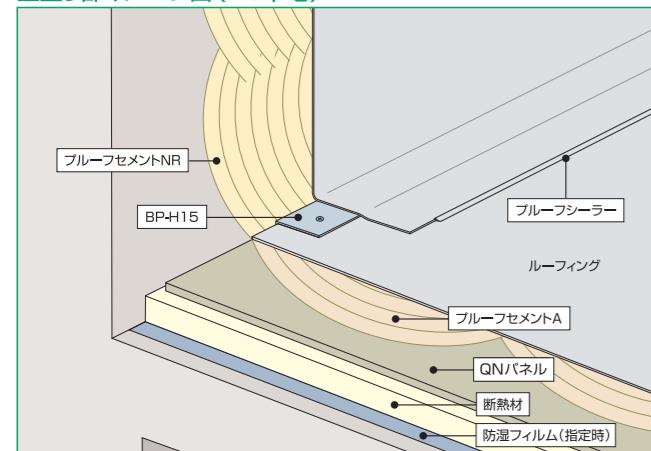
堅固な下地を作つてシートを張る、歩行可能な断熱仕様です。

国土交通省 公共建工事標準仕様 S-F2相当(SI-F2相当・SI-M2相当) 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様 S-F2相当(SI-F2相当・SI-M2相当) 日本建築学会 建築工事標準仕様(JASS 8) S-PF相当(S-PFT相当・S-PMT相当)
適合仕様・特記仕様対応

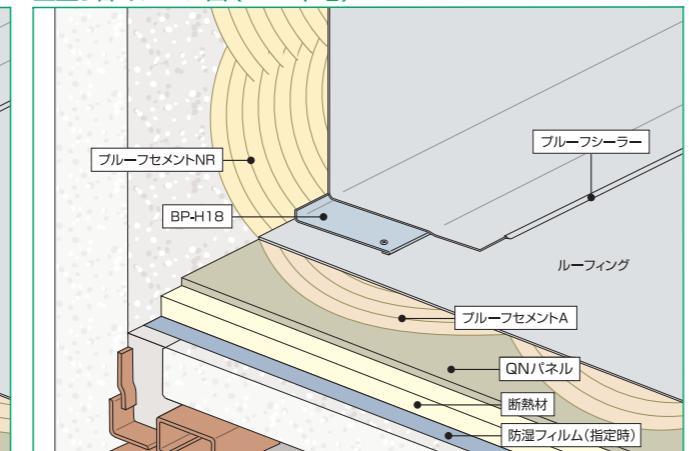
イメージ図 125仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



立上り部イメージ図 (RC下地)



立上り部イメージ図 (ALC下地)



仕様表

仕様記号	125	127
適応下地	RC PC ALC 木質	LSN-127 LA-127
用 途	歩 行	

施工手順	1. 防湿フィルム ^{*1}	防湿フィルム(断熱材固定に対し 国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域) / 建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)	
	2. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	
	3. 補強板	QNパネル(無機質強化板)	
	4. 機械的固定	RC・PC・ALC下地の場合: BS-H1 プラグ・ビス使用 およびEL注入 木質下地の場合: BS-H1 ステンレスビス使用	
	5. 目地処理	ブルーフセメントNR(片面) ロンテープM使用	
	6. 接着剤塗布	平場: ブルーフセメントA(0.35~0.45kg/m ² ・片面) 立上り: ブルーフセメントNR(0.4~0.6kg/m ² ・両面)	
	7. ルーフィング	ロンブルーフシャネツ(LSN) ロンブルーフエース(LA)	
	8. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	9. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	

耐火・防火 (P.183~188参照)	屋根一般仕様の場合	RC・PC・ALC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
	個別認定が必要な場合	RC・PC・ALC下地: DR-1852(21)(7)取得済み ^{*2} 木質下地: DR-1852(15)(1)取得済み ^{*3}

適応部位	改 修	オプション (P.57~80)	関連ページ
陸屋根 最適	コンクリート下地 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。 ※2 (RC・ALC下地の場合) 断熱材は、ポリスチレンフォーム。ルーフィングにベストブルーフRSは適用できません。 ※3 (木質下地の場合) 断熱材は、ポリスチレンフォーム。野地板の取り付けは木ネジ、スクリュー釘を使用。飛び火認定取得条件ごとに制約がございます。また、建築地域・用途によっても制約がございます。詳しくは個別ページをご参照ください(P.183~188)。認定の詳細につきましては飛び火試験認定書をご確認ください。ルーフィングにベストブルーフRSは適用できません。		
	施工上の注意	QNパネルは突き上げ防止の為、5~7mmの目地をあけてください。	

126仕様

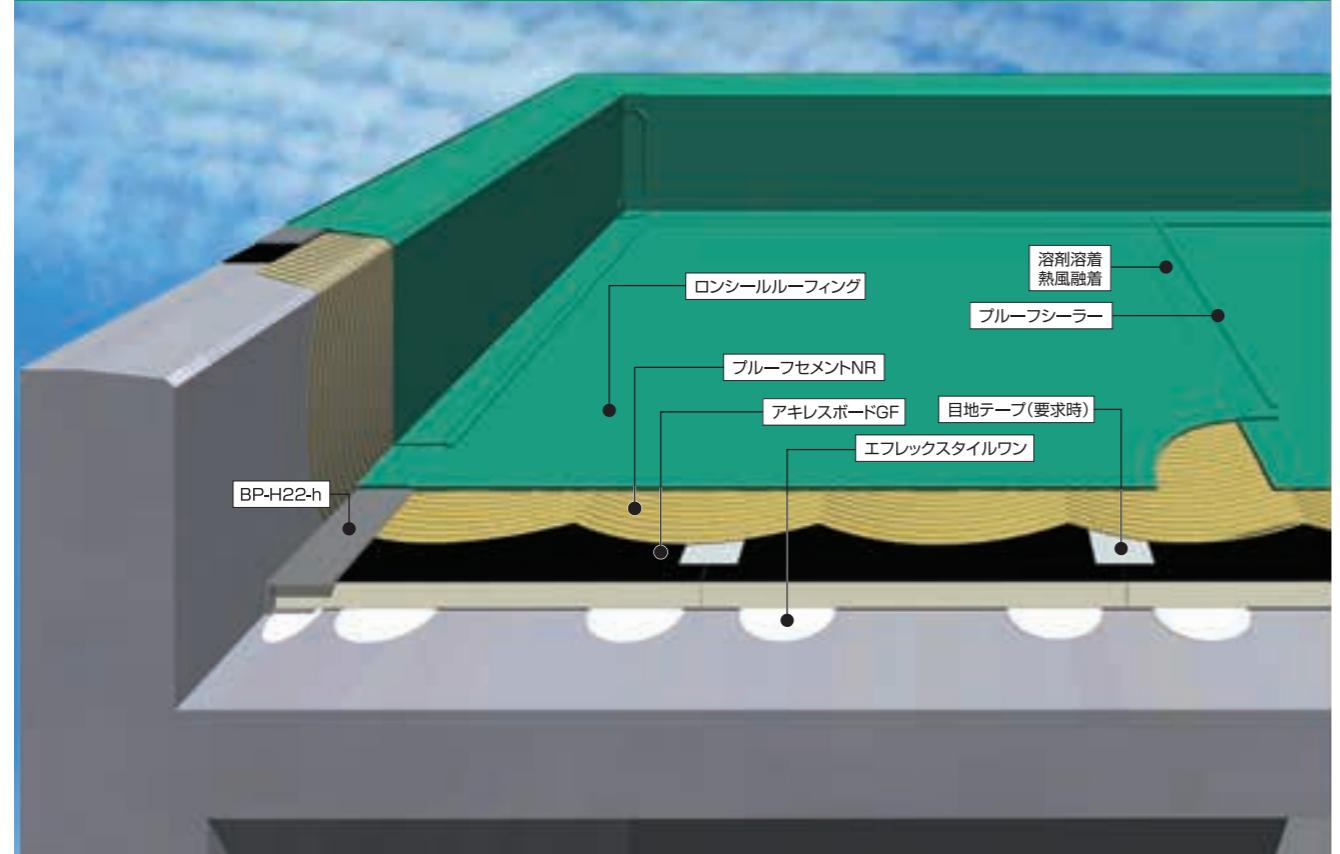
露出・接着・断熱工法
硬質ウレタンフォーム接着断熱工法



硬質ウレタンフォームの採用により、ポリエチレンフォーム断熱工法に比べ
すぐれた断熱性能を発揮。接着工法のため、耐風圧性・騒音の面でも安心な防水工法です。

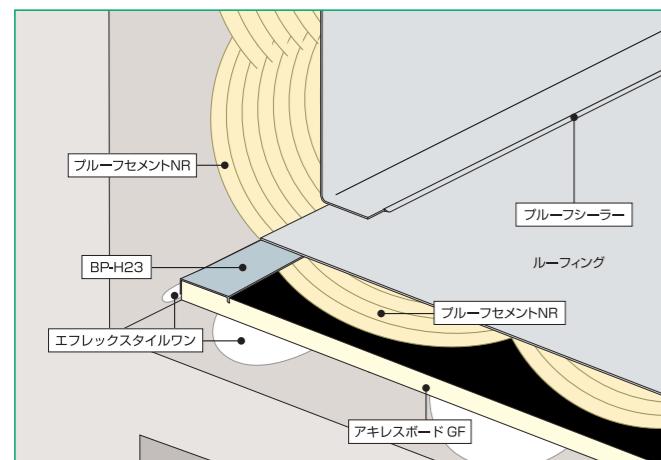
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 SH-F2 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 SH-F2 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) S-PFT
適合仕様 : LSN-126 / LA-126 適合仕様 : 特記仕様

イメージ図 126仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

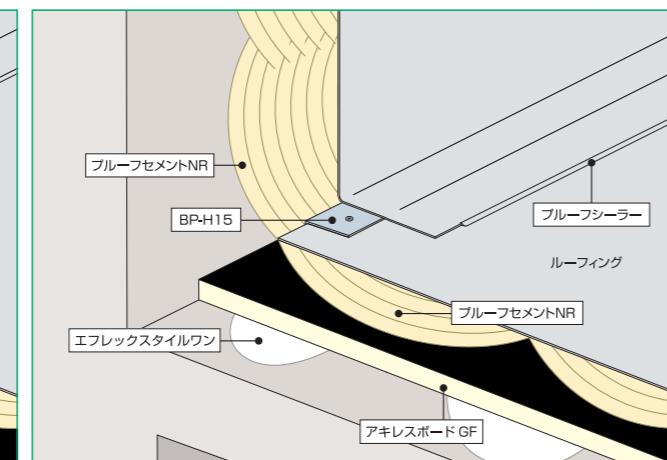


※鋼板、断熱材の固定は、プラグ・ビスを併用する場合もあります。

入隅鋼板 BP-H23 イメージ図



入隅鋼板 BP-H15 イメージ図(プラグ・ビスによる固定)



仕様表

仕様記号	126
	LSN-126 BSN-126 BRS-126 LA-126 NBP-126 BP-126
適応下地	
用 途	
1. 下地処理	(下地状況により)モルタル処理・不陸調整
2. 入隅鋼板 接着剤固定 ^{※1}	エフレックススタイルワン(変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤)+BP-H22-h・BP-H23-h(h:断熱材厚さ)等 プラグ・ビス使用 およびEL注入(要求時 または BP-H15使用時)
3. 断熱材 接着剤固定 ^{※1}	エフレックススタイルワン(変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤)+アキレスボードGF(硬質ウレタンフォーム) 目地テープ(要求時) ^{※2} 、BS-H1 プラグ・ビス使用 およびEL注入(要求時)
4. 接着剤塗布	平場・立上り: ブルーフセメントNR(0.4~0.6kg/m ² 両面)
5. ルーフィング	ロンブルーフシャネツ(LSN) ベストブルーフシャネツ(BSN) ロンブルーフエース(LA) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフ(BP)
6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー
7. 端末処理	ブルーフアングル アルミ笠木 BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント
耐火・防火 (P.183~188参照)	屋根一般仕様のみ
	RC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。

適応部位	改 修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 ◎ 最適 ◎ 適応	 ◎ 最適 ◎ 対応可	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意 RC下地限定の工法となります。

施工上の注意 ※1 鋼板、断熱材の固定は、プラグ・ビスを併用する場合もあります。

※2 断熱材の目地・段差が大きい場合に使用します。

210仕様 [UD工法]

露出・機械的固定・非断熱工法

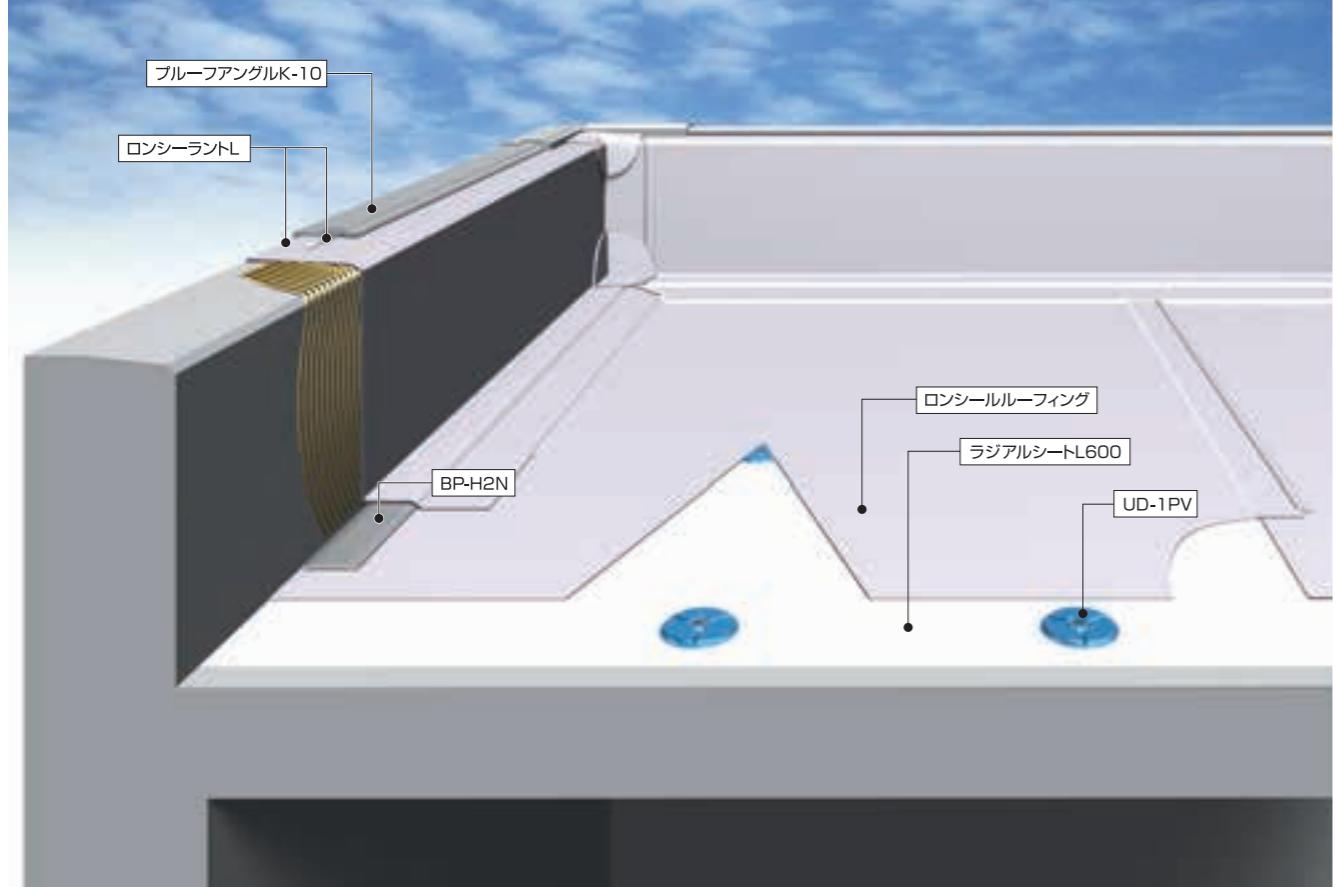


接着剤を用いず、機械的にシートを固定。

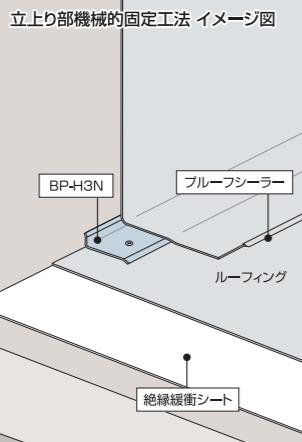
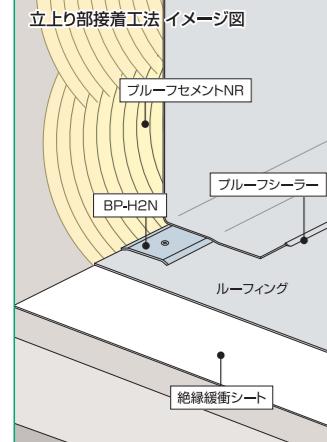
先付け機械的固定工法により、美観と作業性を兼ね備えた防水仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 S-M2 土国交通省 公共建築改修工事標準仕様書 S-M2 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) S-PM
適合仕様: BSN-210UD / NBP-210UD / BRS-210UD / BP-210UD ※左記仕様以外は、特記対応

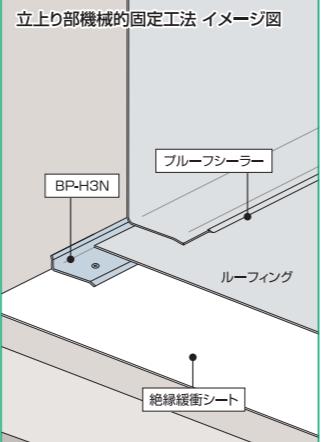
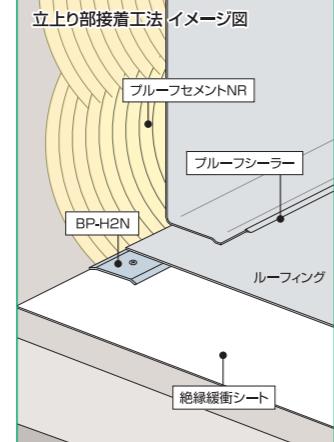
イメージ図 210 UD仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



〈入隅鋼板 後付け〉



〈入隅鋼板 先付け〉



※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

仕様記号	210 UD		BSN-210 UD LA-210 UD	NBP-210 UD BRS-210 UD
適応下地				
用 途				
施工手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絶縁緩衝シート 2. ディスク板固定 3. ルーフィング 4. ルーフィング接合 5. 機械的固定 6. 端末処理 			
耐火・防火 (P.183~188参照)	ラジアルシートL600、ラジアルシートA UD-1PV プラグ・ビス使用 およびEL注入 ロンブルーフシャネット(LSN) ロンブルーフエース(LA) ベストブルーフシャネット(BSN) ベストブルーフRS(BRS) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフ(BP) 溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー 誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用) ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント			
屋根一般仕様のみ	RC・PC・ALC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。			

適応部位	改 修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 最適 最適 適応	 最適 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。
金属下地に直接UD工法(先付け工法)で施工することはできません。木質系セメント板などを敷き込む、もしくはUS工法を推奨します。

施工上の注意 絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。
ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
UD BOXはUDガイドを使用しディスクの中心に合わせて使用してください(UD BOX I・II使用時)。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。圧着は必ず行ってください。
入隅鋼板およびディスクは強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。

225・227仕様 [US工法]

露出・機械的固定・断熱工法

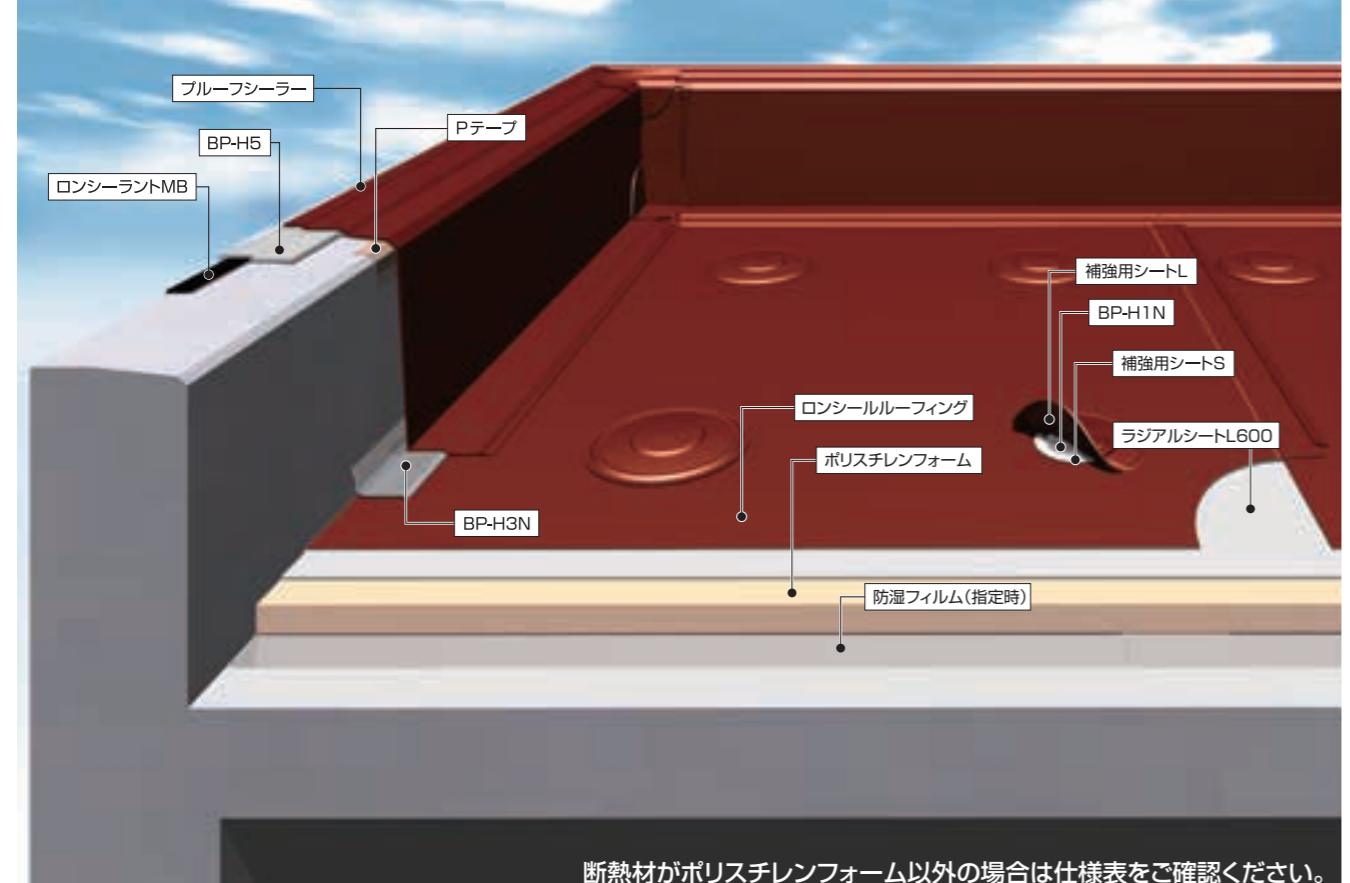


断熱材とともにシートをUS工法(後付け工法)で機械的に固定。

風の強い地域や耐風圧性が求められる用途等に適した断熱仕様です。

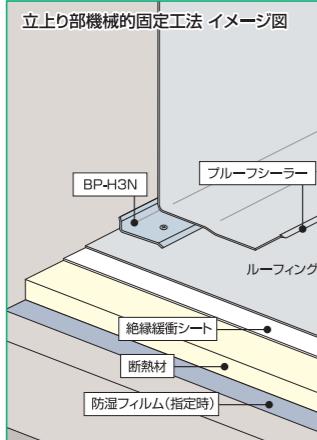
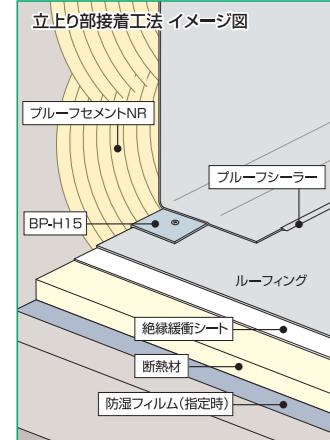
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 SI-M2 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) S-PMT
適合仕様: BSN-225-227US / NBP-225-227US / BRS-225-227US / BP-225-227US ※左記仕様以外は、特記対応

イメージ図 225 US仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

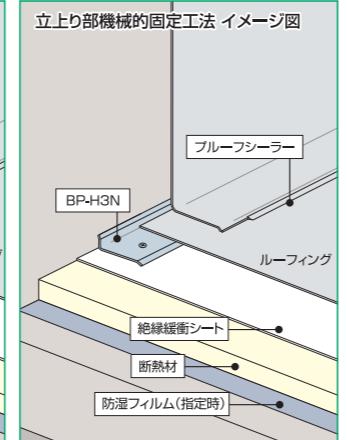
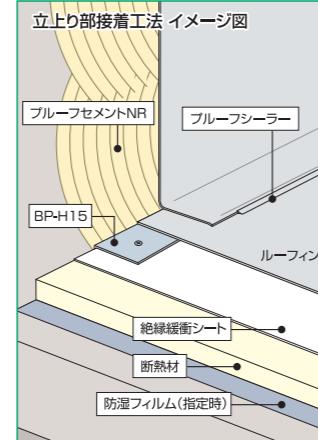


断熱材がポリスチレンフォーム以外の場合は仕様表をご確認ください。

《入隅鋼板 後付け》



《入隅鋼板 先付け》



※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

仕様記号	225 US	227 US
	LSN-225 US BRS-225 US LA-225 US BP-225 US BSN-225 US BP α -225 US NBP-225 US	LSN-227 US BRS-227 US LA-227 US BP-227 US BSN-227 US NBP-227 US

適応下地	RC PC ALC (金属 US仕様参照 P.41~48)
------	-------------------------------

用途	非歩行 点検歩行○
----	--------------

施工手順	1. 防湿フィルム ^{※1}	防湿フィルム(国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域) / 建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)	
	2. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種BA)	
	3. 絶縁緩衝シート	硬質ウレタンフォーム(硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品	
	4. ルーフィング	ラジアルシートL600、ラジアルシートA ※ベストブルーフ α 選択時は不要	——
	5. ルーフィング接合	ロンブルーフシャネツ(LSN) ベストブルーフシャネツ(BSN) ベストブルーフRS(BRS) ベストブルーフ α (BP α) ロンブルーフエース(LA) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフ(BP)	——
	6. 機械的固定 固定部補強	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	——
	7. 補強部接合	BP-H1N プラグ・ビス使用 およびEL注入 + 補強用セット(補強用シートS・L)	——
	8. 端末処理	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	——
ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント		——	

耐火・防火 (P.183~188参照)	屋根一般仕様の場合	RC・PC・ALC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
	個別認定が必要な場合	RC・ALC下地: DR-0238取得済み(ベストブルーフ ナンネン限定(BPN-225US)) ^{※2} RC・PC・ALC下地: DR-1988, DR-1987取得済み(LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定) ^{※3}

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
陸屋根 最適	コンクリート下地 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。 ※2 (RC-ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、ポリスチレンフォーム 100mm以下。 適用ルーフィングは、「ベストブルーフ ナンネン」のみとなります。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。 ※3 (RC-PC-ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、硬質ウレタンフォーム 150mm以下、LFDシート使用。 ルーフィングにベルトブルーフRSは適用できません。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。		
	断熱材の敷き込みと同時に、断熱材の仮固定が必要となります。 絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定してください。 入隅鋼板およびディスクは強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。		
	——		

施工上の注意	断熱材の敷き込みと同時に、断熱材の仮固定が必要となります。 絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定してください。 入隅鋼板およびディスクは強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。		
	——		

225・227仕様 [UD工法]

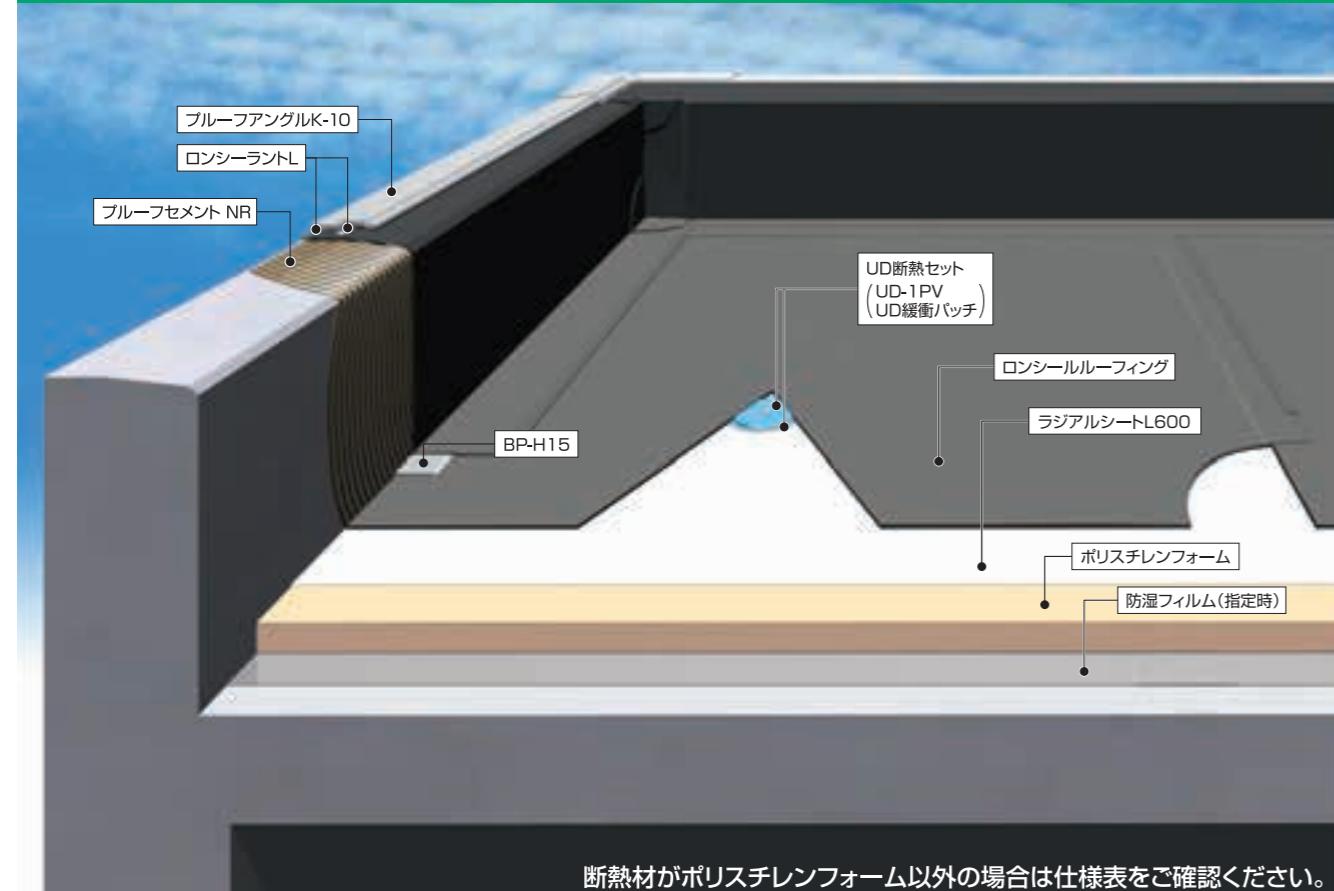
露出・機械的固定・断熱工法



断熱材とシートをUD工法(先付け工法)で機械的に固定。
改修工法としても最適な断熱仕様です。

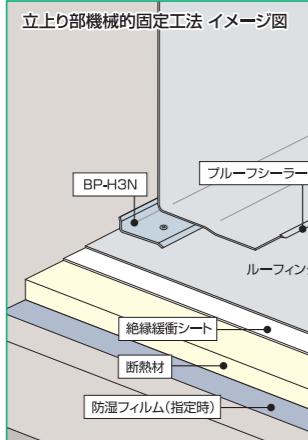
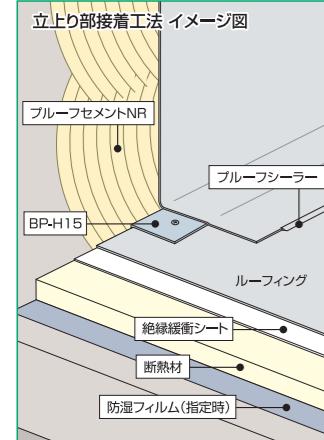
国土交通省 公共建築工事標準仕様書 SI-M2 國土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) S-PMT
適合仕様: BSN-225-227UD / NBP-225-227UD / BRS-225-227UD / BP-225-227UD ※左記仕様以外は、特記対応

イメージ図 225 UD仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

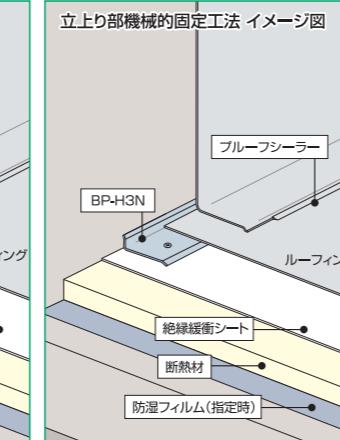
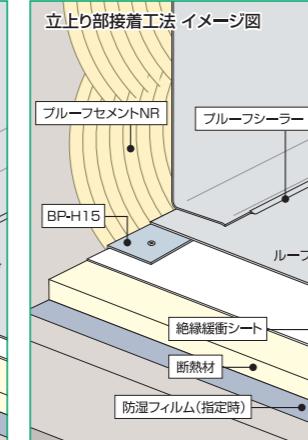


断熱材がポリスチレンフォーム以外の場合は仕様表をご確認ください。

《入隅鋼板 後付け》



《入隅鋼板 先付け》



※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

仕様記号	225 UD	227 UD		
	LSN-225 UD BSN-225 UD BRS-225 UD LA-225 UD NBP-225 UD BP-225 UD	LSN-227 UD BSN-227 UD BRS-227 UD LA-227 UD NBP-227 UD BP-227 UD		
適応下地				
用途				
<p>施工手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 防湿フィルム^{※1} 2. 断熱材 3. 絶縁緩衝シート 4. ディスク板固定 5. ルーフィング 6. ルーフィング接合 7. 機械的固定 8. 端末処理 				
<p>耐火・防火 (P.183~188参照)</p>				
<p>屋根一般仕様の場合 RC・PC・ALC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。</p>				
<p>個別認定が必要な場合 RC・PC・ALC下地: DR-1988, DR-1987取得済み (LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定)^{※2}</p>				

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 ◎ 最適 ◎ 適応	 ◎ 最適 ◎ 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。 ※2 (RC・PC・ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、硬質ウレタンフォーム 150mm以下、LFDシート使用。 ルーフィングにベルトブルーフRSは適用できません。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。		
	絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスクの固定ビッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。 UD BOXはUDガイドを使用しディスクの中心に合わせて使用してください(UD BOX I-II使用時)。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。圧着は必ず行ってください。 UD緩衝用パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。入隅鋼板およびディスク板は強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。	関連技術資料 施工実績	

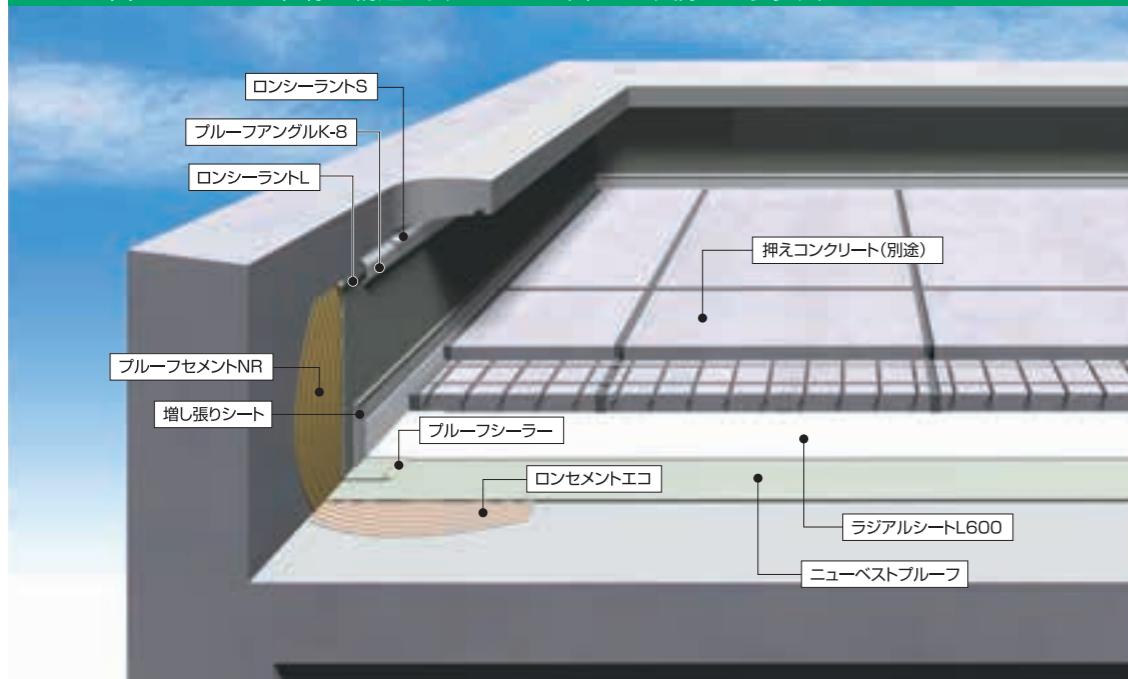
310・325仕様

押え・部分接着・非断熱・断熱工法

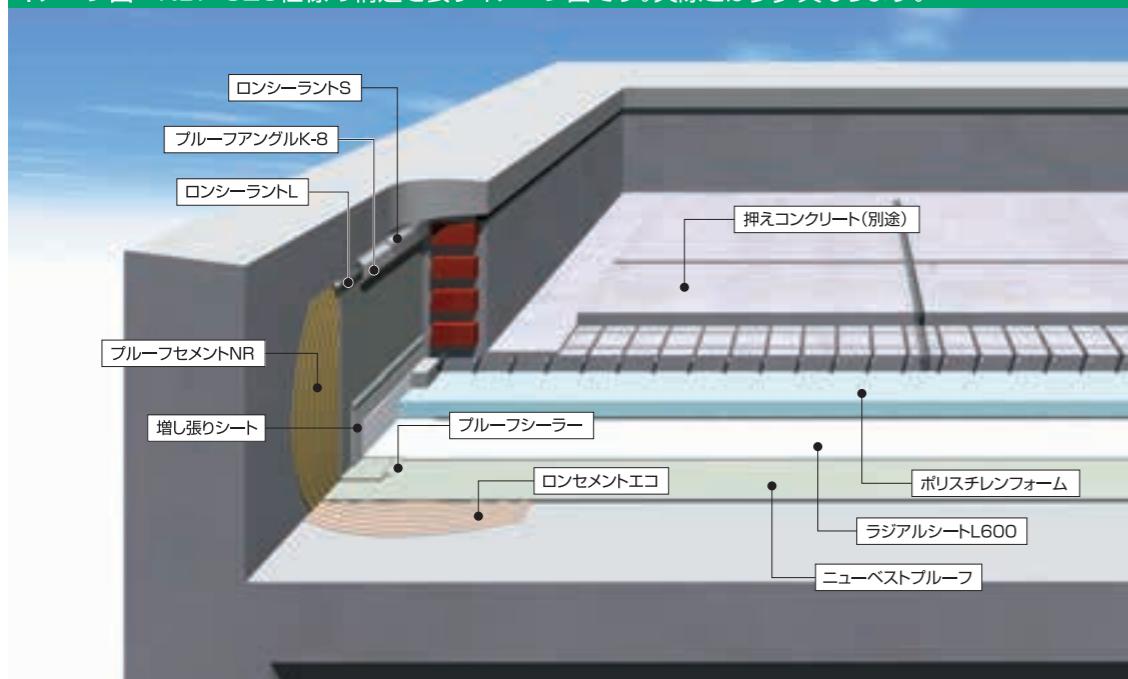


下地にシートを部分的に接着し、
押え層を設ける工法。重歩行に耐える防水仕様です。

イメージ図 NBP-310仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



イメージ図 NBP-325仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



仕様表

仕様記号	押え工法 310	押え断熱工法 325
	NBP-310	NBP-325

適応下地	
用 途	

施工手順	1. 接着剤塗布	平場：ロンセメントエコ(0.1~0.2kg/m ² ・部分的に使用) 立上り：ブルーフセメントNR(0.4~0.6kg/m ² 両面)
	2. ルーフィング	ニューベストブルーフ(NBP)
	3. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー
	4. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント
	5. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600
	6. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)
	7. 保護	押えコンクリート打設(別途)

耐火・防火 (P.183~188参照)	最表面を不燃材料で覆っているため、飛び火認定は必要ありません。
------------------------	---------------------------------

適応部位	改 修	オプション (P.57~80)	関連ページ
最適	最適	防滑性床材 <input type="radio"/> 太陽光パネル設置工法 <input type="triangle"/> ロンライン <input type="minus"/> 屋上緑化 <input type="radio"/> 保護材 <input type="radio"/> 保護塗料 <input type="minus"/> 脱気システム <input type="radio"/>	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	押えコンクリート打設時には入隅に成形緩衝材、入隅線から600mm以内に伸縮目地を入れてください。 押えコンクリート打設時の金ゴテによる防水層の損傷防止のため、増し張りシートの設置を推奨します。
--------	---